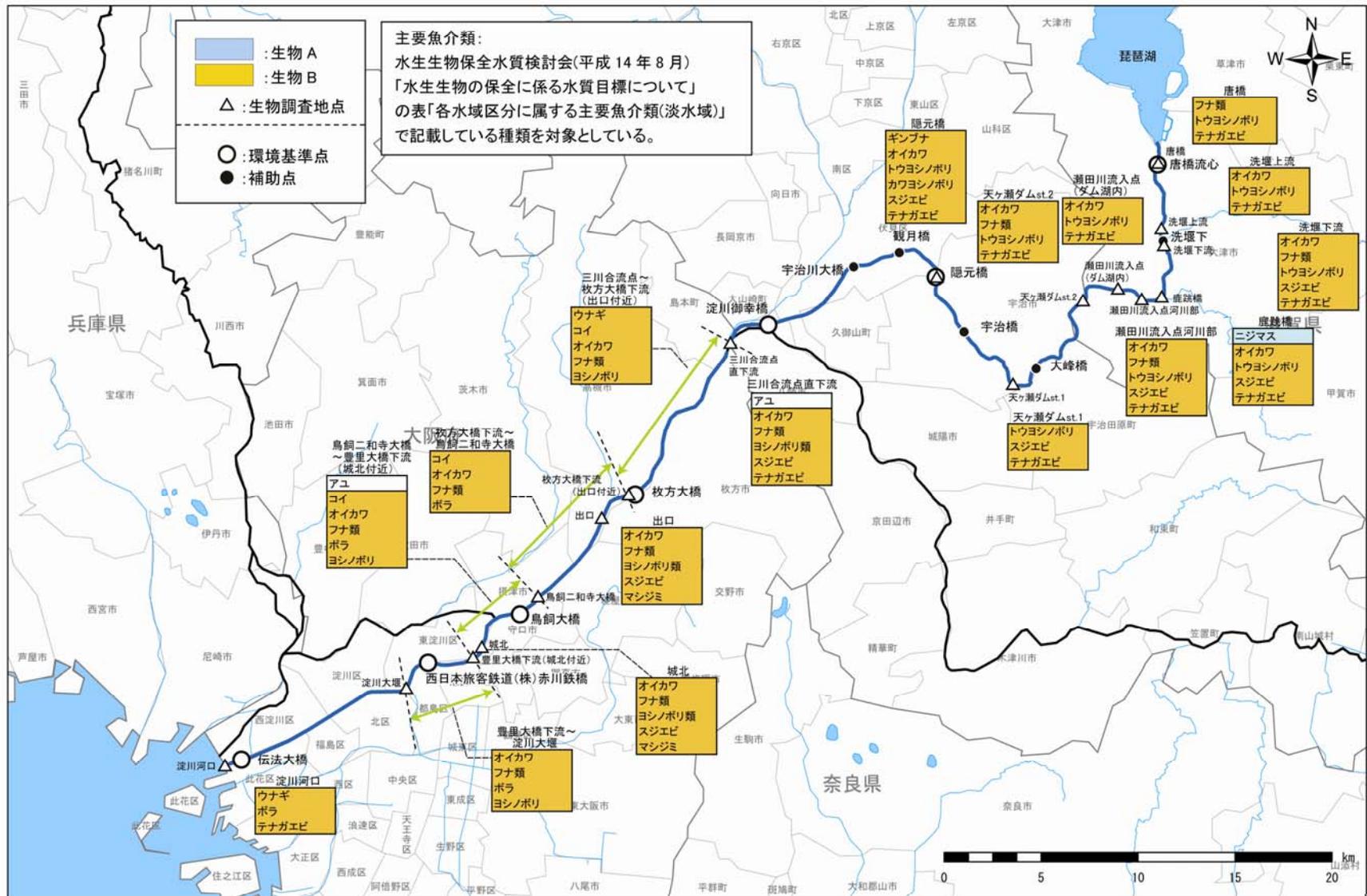


図7.12 主な河川横断工作物（淀川）

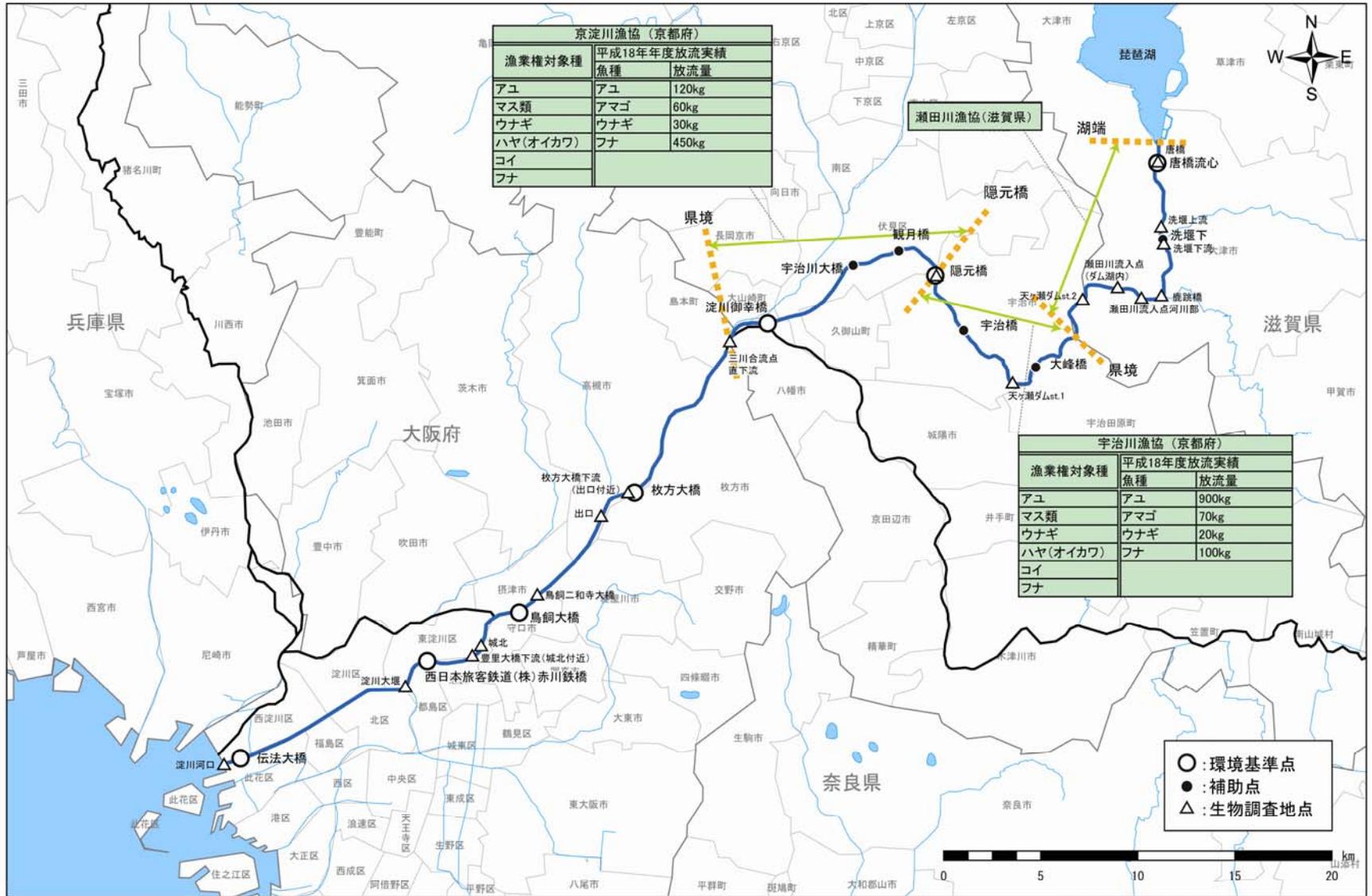


出典：平成14・16年年度 国土交通省河川水辺の国勢調査・平成14年度 大阪府水生生物センター淀川魚類資源動向調査

図7.13 主要魚介類の確認状況（淀川）

表7.3 主要魚類の確認状況（既存調査結果）（淀川）

項目・分類・科・種名		調査地点		1		2		3		4		5		6		7		8		9		10		11		12		13		14		15		16		17				
		淀川河口	豊里大橋下流	城北	豊島川二和寺大橋下流	鳥羽二和寺大橋下流	鳥羽二和寺大橋下流	出口	三河川合流点下流	三河川合流点下流	豊元橋	天ヶ瀬ダム	天ヶ瀬ダム	瀬田川湖内一ヶ所																										
出典・調査時期		国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター淀川魚類資源動向調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター淀川魚類資源動向調査	大阪府水産生物センター淀川魚類資源動向調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター淀川魚類資源動向調査	大阪府水産生物センター淀川魚類資源動向調査	国土交通省 河川水辺国勢調査	大阪府水産生物センター淀川魚類資源動向調査	国土交通省 河川水辺国勢調査																												
調査時期		平成14年度(8月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)	平成14年7-8月	平成16年度(5月・10月)				
生物A	魚類	サケ科	ニジマス																																					
	魚類	アユ科	アユ																																					
生物B	魚類	ウナギ科	ウナギ	○																																				
		コイ科	コイ																																					
		コイ科	キンブナ																																					
		コイ科	オイカワ		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
		コイ科	フナ属 (Carassius) の一種			○																																		
		コイ科	フナ属		○																																			
		ボラ科	ボラ	○																																				
		ハゼ科	トウヨシノボリ																																					
		ハゼ科	カワヨシノボリ																																					
		ハゼ科	ヨシノボリ属 (Rhinogobius) の一種																																					
甲殻類	魚類	ヨシノボリ		○																																				
		スズキ			○																																			
軟体類	魚類	テナガエビ科	テナガエビ	○																																				
		シジミ科	マシジミ																																					
その他	魚類	コイ科	カネヒラ																																					
		コイ科	シロヒレタビラ																																					
		コイ科	イタセンバラ																																					
		コイ科	タイリクバラタナゴ																																					
		コイ科	バラタナゴ																																					
		コイ科	ハクレン																																					
		コイ科	ウツカ																																					
		コイ科	ハス																																					
		コイ科	カウムツ																																					
		コイ科	モツゴ																																					



出典: 京都府・滋賀県資料・平成18年度ヒアリング調査
 ・平成19年度ヒアリング調査より

図7.14 漁業権設定状況・放流状況 (淀川)

2.8 神崎川

(1) 水域の概要

神崎川は、大阪府北部を流れる淀川の分流であり、摂津市一津屋地区西端にある一津屋水門で淀川右岸から取水、東淀川区北部を西に貫流、吹田市の南端をかすめ曲流しながら吹田市・大阪市淀川区・豊中市・兵庫県尼崎市の境をなして流れ、西淀川区で左門殿川・中島川・西島川を分けて西淀川区中島と西島の境で大阪湾に注ぐ、流程約21km、流域面積627 km²の河川である。

(1) 水質の状況

1) 水域類型指定状況（図 8.1）

既存生活環境項目（BOD・COD・全窒素・全リン等の水生生物保全環境基準を除く項目）の水域類型指定状況は、全域B類型に指定されている。

2) 水質汚濁状況（表 8.2、図 8.2～図 8.4）

BOD75%値の5年平均の比較図を見ると1988～1997年にかけては、いずれの地点も環境基準を未達成であるが、徐々に水質が改善され、近年はいずれの地点でも環境基準を満たしている。

3) 亜鉛の水質の状況（図 8.5～図 8.7）

全亜鉛は年度によってばらつきが見られ、平成17年度に千船橋で年度平均値が0.03 mg/L程度、小松橋では0.036mg/Lとなっている。

神崎川本川における亜鉛排出事業所としては下水処理場・化学工業製品製造業・食料品製造業等、全体で11件存在しており、そのうち当該水域へ直接放流する事業所（PRTR対象事業所）は6件で、年度排出量が1000kg超・100kg超・10kg超・1kg超・1kg以下の順で見ると3件・2件・1件・0件・0件となっている（出典：平成18年度水質汚濁物質排出量総合調査データ、平成18年度PRTRデータ）。

(3) 水温の状況（図 8.8～図 8.9）

全域で平均水温が17～20℃程度となっている。

(4) 水域の構造等

1) 河床材料（図 8.10）

河床材料は、概ね全域において泥が主体となっている。

2) 流量（図 8.11）

流量測定点はない。。

3) 主な河川構造物（図 8.12）

堰やダム等の設置はない。

(5) 魚介類の生息状況（表 8.1・表 8.3、図 8.13～図 8.14）

1) 冷水性の魚介類

(a) 基本情報

河川水辺の国勢調査等によると、冷水性魚介類は確認されていない。

(b) ヒアリング情報

表8.1のとおり。

2) 温水性の魚介類

(a) 基本情報

温水性の魚介類は全般的にコイ・フナ類・オイカワ・ボラ等が確認されている。

(b) ヒアリング情報

表8.1のとおり。

3) その他関連情報

神崎川においては漁業権が設定されていない。

表8.1 魚介類生息状況に関する学識者や漁業関係者へのヒアリング結果概要（神崎川）

	上流～下流
魚介類の生息に関する情報	<ul style="list-style-type: none">●代表的及び特徴的な魚介類としてギンブナの他に、海産性魚類であるボラ、スズキ、シマイサキ等があげられる（大阪府水生生物センター、藻川漁協）。●イワナ・アマゴ等は本流内には生息していない（大阪府水生生物センター、藻川漁協）。●概ねコイ・フナ類等の種類は全域に生息している（藻川漁協）。



図8.1 水質汚濁に係る環境基準の類型指定状況（神崎川）

表8.2 近年の水質状況（神崎川）

水域	類型	環境基準点	年度	BOD(mg/L)					pH			DO(mg/L)				SS(mg/L)				大腸菌群数 (MPN/100mL)			
				最小値	最大値	平均値	75%値	基準	最小値	最大値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準	最小値	最大値	平均値	基準
神崎川	B	小松橋	H16	0.9	2.5	1.6	1.9	3	6.8	7.5	6.5~8.5	7.6	12.0	9.4	5	3	46	10	25	4,900	33,000	17,000	5,000
			H17	0.8	6.2	2.3	2.3		7.1	8.0		6.9	12.0	9.6		1	20	8		1,700	240,000	68,000	
			H18	1.3	4.3	2.0	2.3		6.9	7.6		7.6	11.0	9.5		3	13	7		1,300	7,000	3,600	
神崎川	B	新三国橋	H16	0.6	2.8	1.7	1.9	3	7.1	7.7	6.5~8.5	4.5	10.0	7.4	5	2	17	5	25	7,900	490,000	85,000	5,000
			H17	0.7	3.3	1.9	2.3		7.1	7.9		4.1	9.9	8.1		2	11	5		2,200	540,000	33,000	
			H18	1.3	8.1	2.5	2.5		7.2	8.5		3.1	9.6	7.1		3	120	10		790	5,400,000	100,000	
神崎川	B	神崎橋	H16	0.9	1.8	1.4	1.8	3	7.0	7.7	6.5~8.5	6.1	9.3	7.7	5	2	5	4	25	—	—	—	—
			H17	0.8	3.9	2.4	3.0		7.1	8.1		5.0	10.0	7.8		2	6	4		—	—	—	
			H18	1.0	2.1	1.8	2.0		7.2	8.2		6.5	9.3	7.9		5	6	5		—	—	—	
神崎川	B	千船橋	H16	1.0	3.5	2.0	2.1	3	7.2	8.1	6.5~8.5	5.0	11.0	7.3	5	1	15	6	25	330	350,000	43,000	5,000
			H17	1.1	6.0	2.6	2.8		7.3	8.0		4.9	9.5	7.8		2	11	6		1,700	490,000	96,000	
			H18	1.3	5.0	2.4	2.8		7.3	8.1		4.2	11.0	7.8		3	8	6		330	130,000	16,000	
神崎川	B	左門橋	H16	1.2	3.6	2.3	2.8	3	7.1	7.6	6.5~8.5	4.8	9.4	7.4	5	6	24	12	25	1,700	460,000	120,000	5,000
			H17	1.4	4.5	2.6	3.0		6.8	7.3		5.0	9.6	7.1		7	11	8		1,300	9,200,000	1,500,000	
			H18	1.7	3.0	2.2	2.7		6.8	7.3		4.2	8.6	6.9		6	17	9		490	23,000	10,000	
神崎川	B	辰巳橋	H16	0.6	3.4	1.6	1.8	3	7.0	8.1	6.5~8.5	4.2	11.0	6.9	5	1	7	4	25	1,300	330,000	67,000	5,000
			H17	0.9	3.8	1.9	2.5		7.1	8.5		4.4	10.0	7.4		2	11	5		2,200	490,000	43,000	
			H18	1.1	4.9	1.9	2.2		7.1	7.4		3.9	7.4	6.0		2	14	6		240	220,000	40,000	

出典：公共用水域水質測定結果（平成16～18年度）

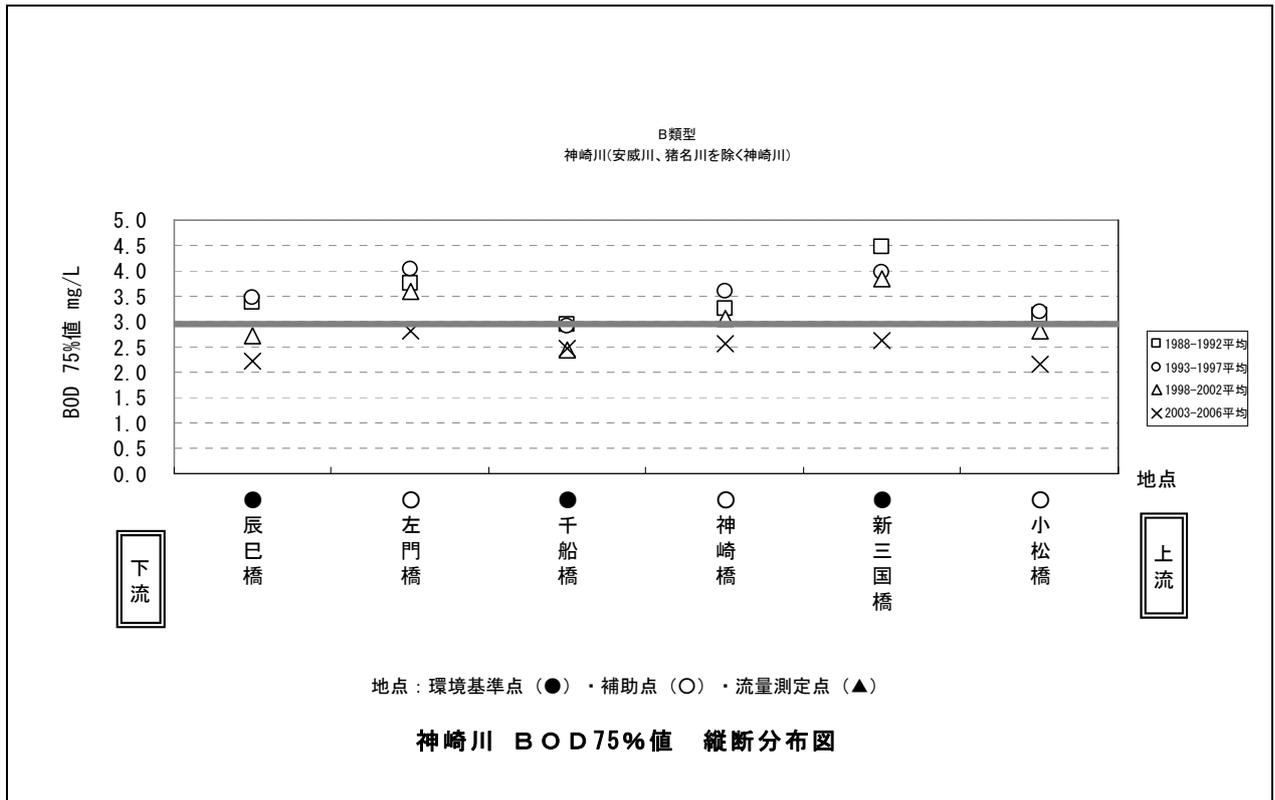


図8.2 BOD75%値の縦断分布図 (神崎川)

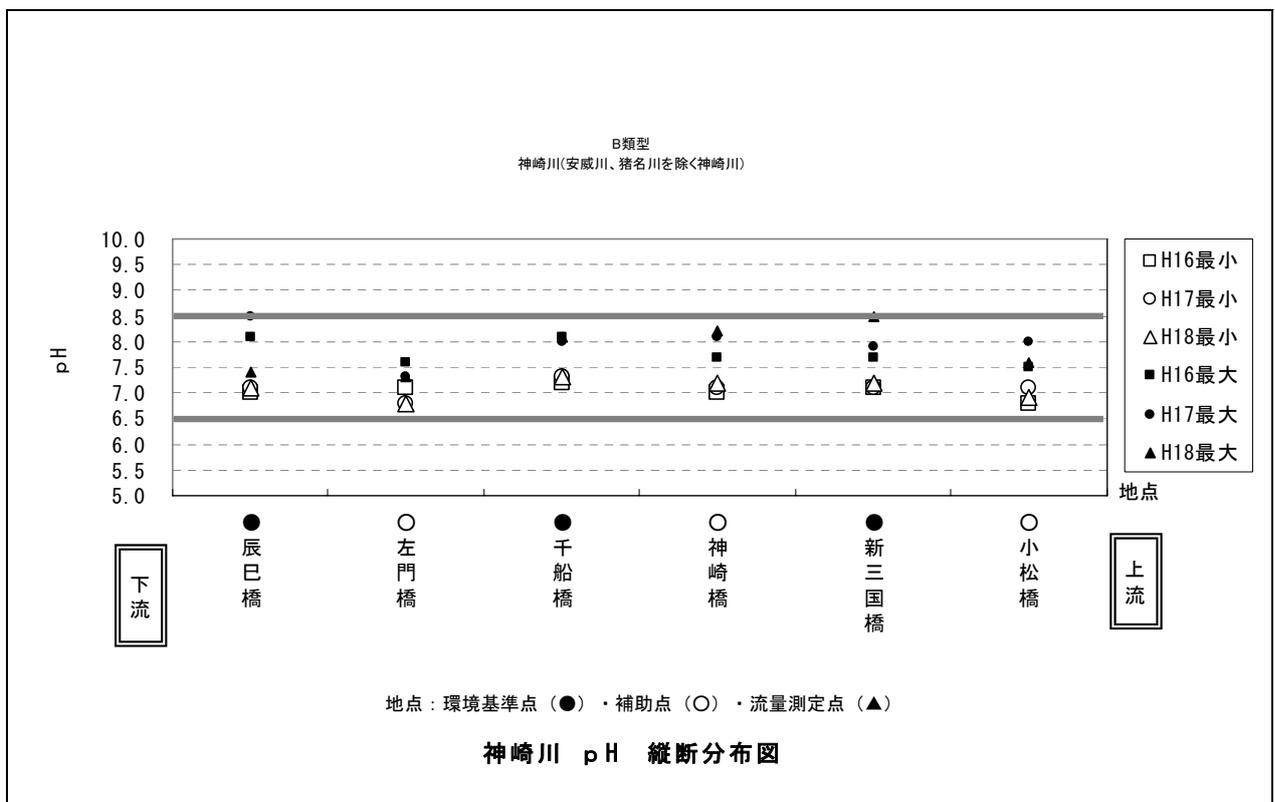


図8.3 pHの縦断分布図 (神崎川)

出典：公共用水域水質測定結果

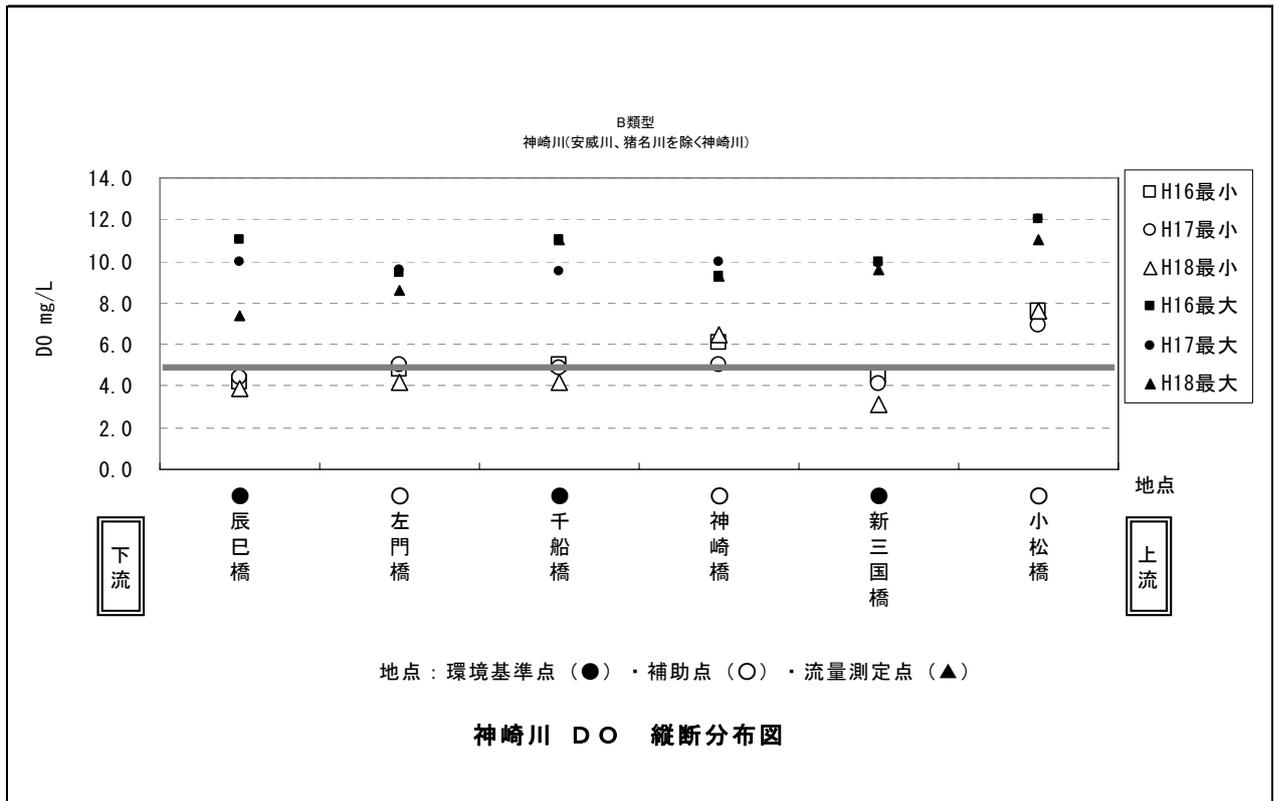


図8.4 DOの縦断分布図 (神崎川)

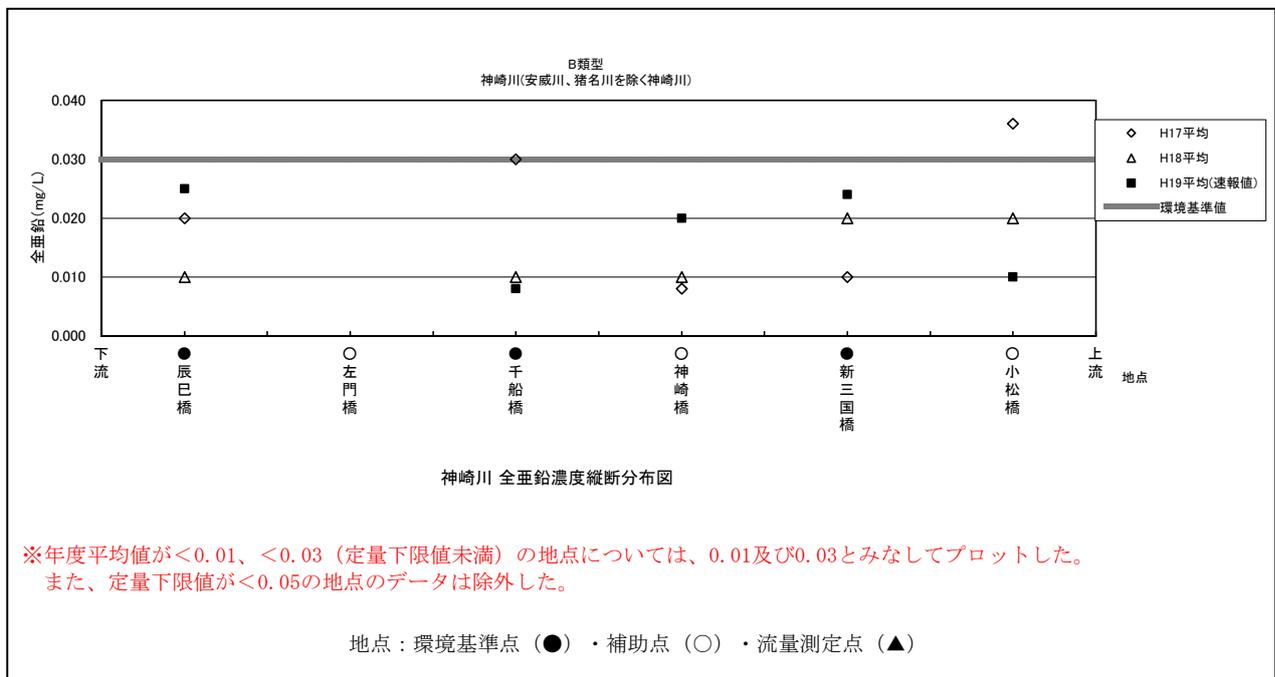


図8.5 全亜鉛の縦断分布図 (神崎川)

出典：公共用水域水質測定結果

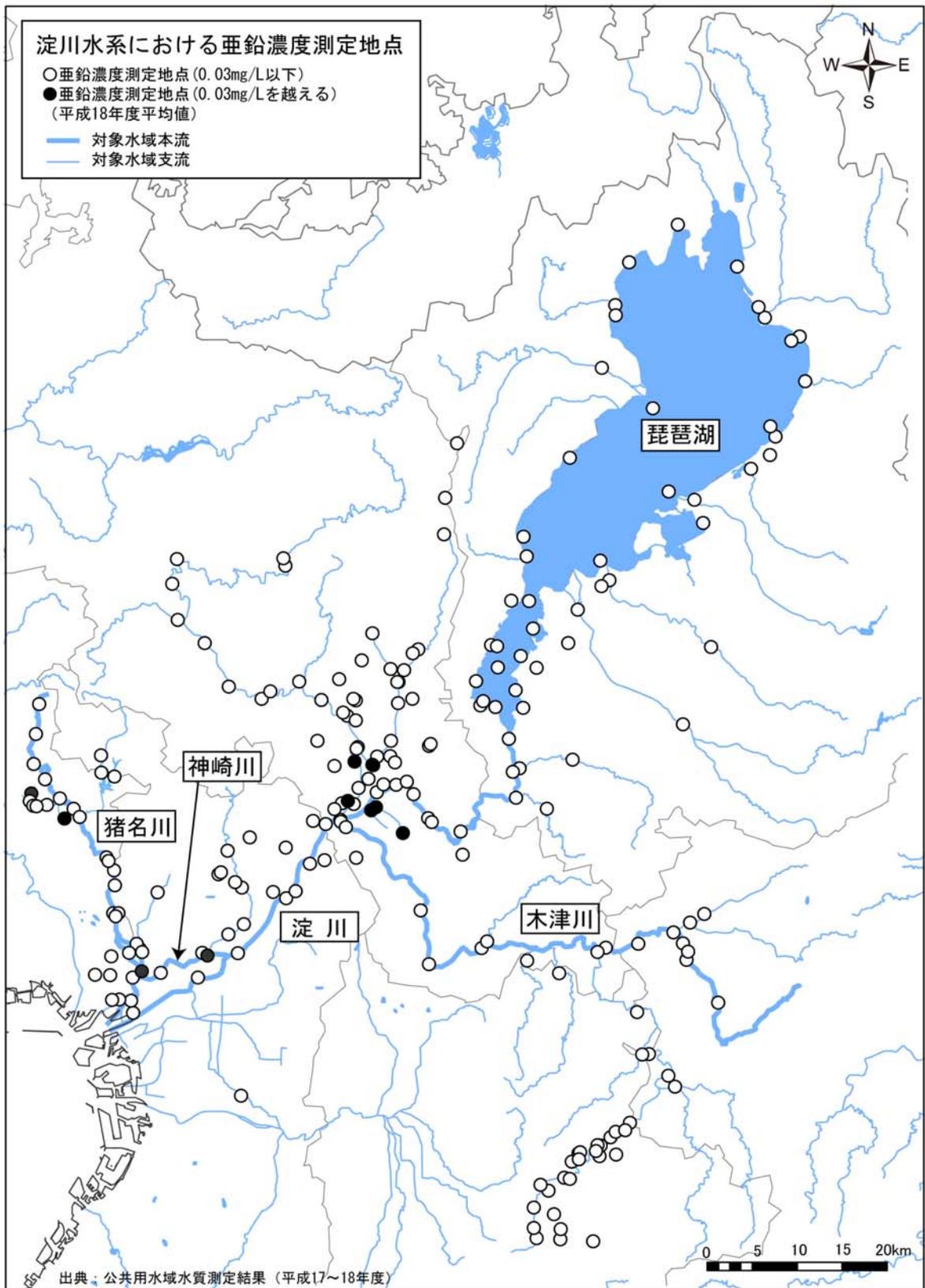


図8.6 亜鉛測定地点（神崎川）

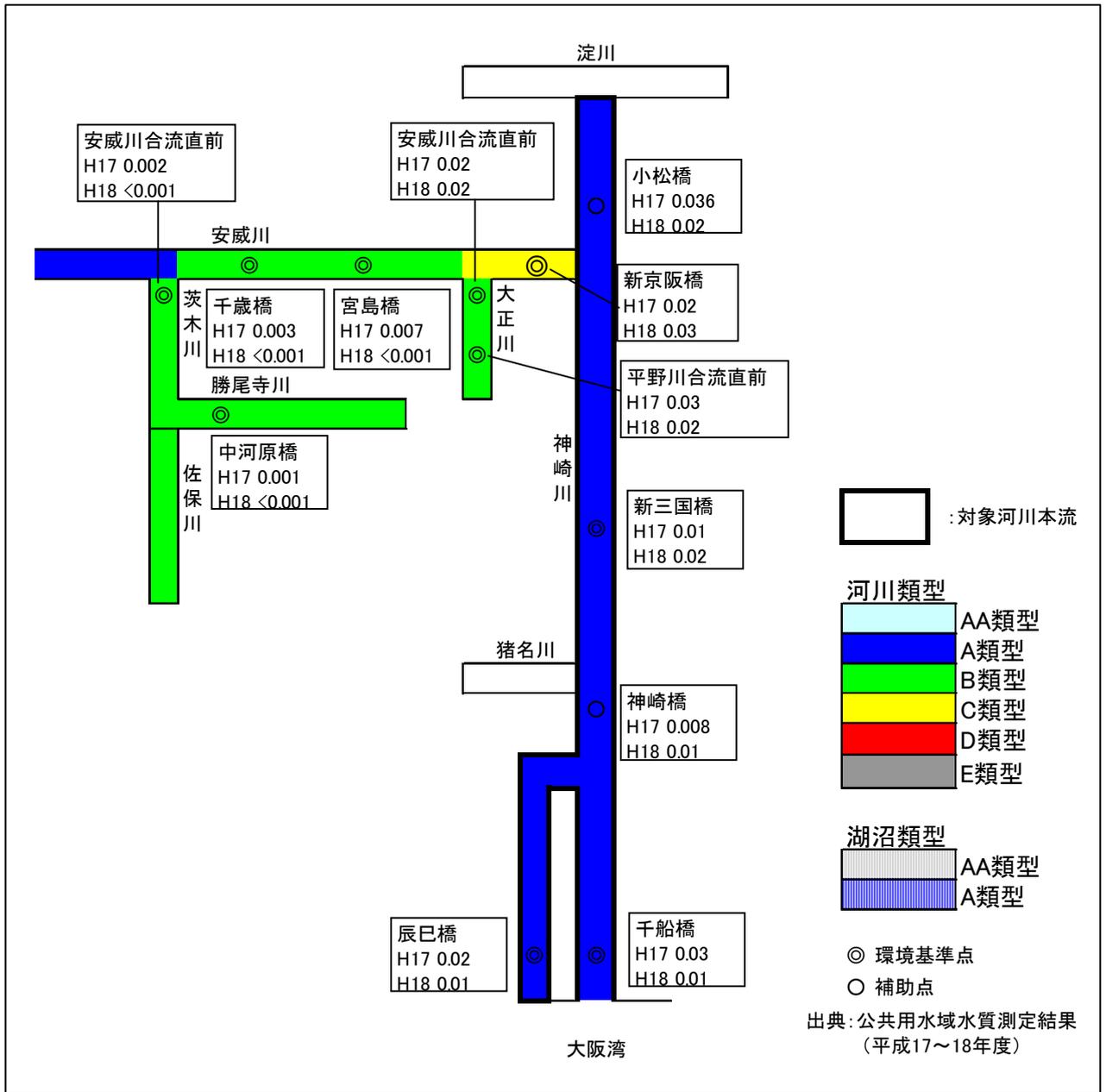


図8.7 垂鉛分布状況 (神崎川)